

第2期鯖江市環境基本計画（案）に関するパブリックコメントにおける意見一覧

No	意見要旨	鯖江市の考え方
1	鯖江市で太陽光及び蓄電池を導入している方の実績値を調べて、外部から電力を買わずに、極力自給自足をするシステムを取り入れてはどうか。	市では、地球温暖化防止に向けて「ゼロカーボンのまち」の実現を目標に掲げており再生可能エネルギーの普及拡大は重要な取組の一つと考えております。ご提案いただいた、太陽光発電や蓄電池を活用した自給自足型の電力システムについても、今後の施策の一つとして検討していきます。
2	花粉症について、政府は、スギの伐採や無花粉スギの植栽など進めているので、併せて市として進めてはどうか。 水質、大気 etc については国民に認識されているが、土壌汚染は知られていないため、広く啓発することが必要。 花粉症と土壌汚染に関しての2つを環境特性として課題に挙げてもいいのではないか。	本計画では、脱炭素社会の実現に向けて森林整備を進めることにしています。森林は二酸化炭素を吸収する重要な役割を担っていますが、一方で、スギ花粉による健康への影響が大きいことも認識しています。花粉症対策は、森林の管理だけでなく、医療や大気環境など幅広い分野に関わるため、今回の計画には直接位置づけていません。しかし、ご提案のように、国や県ではスギの伐採促進や無花粉スギの植栽といった取組が進められておりますので、これらの動向を踏まえながら、市として今後の対応を検討していきます。 土壌汚染は地下水の汚染と密接に関係するものであり、今回は河川の水質等の項（本編 P22）で一部触れています。
3	鯖江市は「環境運動においては市全体で全国トップクラス」といわれるように行政のほうで進めてほしい。そのためにも、市民が環境に関して無関心でないよう工夫が必要だと思う。	ご指摘の「市全体で全国トップクラスの環境先進都市」を目指すためには、行政だけでなく、市民、事業者、地域団体など、地域に関わるすべての皆さまとの協働が不可欠です。環境問題を自分ごととして捉えていただけるよう、環境保全活動を行う市民団体等と連携し、啓発活動などに取り組んでいきます。
4	紙面上の推進体制だけ立派であっても、何も生み出せない。事務局は基本計画改定のときに慌てるのではなく、前向きに建設的に動いてほしい。	ご指摘のとおり、計画上の体制を整えるだけでは十分ではなく、事業を着実に進め、成果につなげていくことが重要であると認識しております。そのため、本市では各施策の進捗状況を定期的に確認し、必要に応じて改善を行うなど計画の実行性を高める取組を進めていきます。
5	「計画の体系」の項（本編 P5～P6）、SDGs に関する特定の目標だけを「マルチベネフィット」として示すのではなく、SDGs 全体を推進する旨を示し、全目標を載せる方がよいのではないか。 「環境と産業の共存・共生」の項（本編 P8）、SDGs には「環境・社会・経済」の3側面がある	本計画では、SDGs の 17 の目標全体が相互に関連し、持続可能な社会の実現に不可欠であることを踏まえています。そのうえで、本計画が「環境計画」であることから、特に環境と深いかかわりのある目標を中心に掲載しています。 また、「5. 環境と産業の共存・共生」の項目では、

<p>が、そのうち「環境・経済」についてしか触れられていない。「社会」についても項目に加えてはどうか。</p>	<p>表現上「社会」という語句は明記していませんが、SDGsが示す「環境・社会・経済」の3つの側面は、本計画の考え方においても重要な視点です。環境市民の育成や市民協働による環境活動の推進など、社会的な側面も重視しながら施策を進めていきます。</p>
---	--

このほか、誤字・脱字や用語の解釈に関するご意見を2件いただき、修正いたしました。

皆様からいただいたご意見は、今後の環境施策に反映してまいります。

多くのご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。